



## 歯科検診の結果をお知らせします。

※歯科校医の山下歯科医院の山下先生から、“**歯科検診後にお伝えしたいこと**”としてメッセージをいただきましたので、読んでくださいね。

### 今年度の歯科検診結果



むし歯は少ないですが、歯肉炎や歯列・咬合の異常が多いです。

#### ①歯の状態(%)：乳歯または永久歯のう歯(むし歯)

	1年男子	2年男子	3年男子	1年女子	2年女子	3年女子	男子計	女子計	男女合計
健全歯者	96.3	84.6	75.0	87.5	86.4	82.8	87.0	85.3	86.1
処置完了者	0.0	7.7	6.3	8.3	9.1	10.3	4.3	9.3	6.9
未処置歯のある者	3.7	7.7	18.8	4.2	4.5	6.9	8.7	5.3	6.9

#### ②歯の状態(%) ①乳歯または永久歯のう歯(処置完了者+未処置歯のある者)の割合 全国平均との

	1年男子	2年男子	3年男子	1年女子	2年女子	3年女子	男子計	女子計	男女計
横川中	3.7	15.4	25.0	12.5	13.6	17.2	13.0	14.7	13.9
全国	23.9	24.8	34.4	26.4	28.3	29.6	25.0	28.1	26.5

#### ③永久歯のむし歯経験者数

		検査者数	経験者数	%
男子	1年	27	0	0
	2年	26	4	15.3
	3年	16	4	25
女子	1年	24	3	12.5
	2年	22	3	13.6
	3年	29	5	17.2

#### ④永久歯の一人当たり平均むし歯等数(本) = DMF指数

MFT = 被検査者全員のDMF歯の合計 ÷ 被検査数

12歳	横川中	全国
	0.08	0.53

D:未処置歯  
M:虫歯による喪失歯  
F:処置歯



全国平均と比べると、横川中はむし歯は少ないです。  
永久歯のむし歯も少ないです。  
永久歯のむし歯は、1~2本の人が多いですが、男子で5本、6本、7本ある人が、各1人いました。

#### ⑥COの保有本数(人数)

		1本	2本	3本	4本	5本	合計
男子	1年	1					1
	2年	1	1	1	1		4
	3年	2	1				3
女子	1年	1					1
	2年	2					2
	3年	1		1			2

#### COとは、

歯に穴が開いているかは確認できませんが、むし歯の初期の徴候(白濁、白斑、褐色性)があり、放置するとむし歯が進行する可能性がある歯。

永久歯の一人平均むし歯指数は、学校保健統計では、12歳の統計しか出ません。1年生の被検者51人で、むし歯が4本、DMF指数は、0.08となり、とても低いです。

要注意乳歯ありは、全校で8人、8本。

近年、むし歯の予防処置や保健指導の浸透などにより、日本の子供のむし歯本数は、大きく減少し、むし歯予防先進国の欧米諸国と肩を並べるレベルとなっています。12歳児の一人当たりの平均むし歯本数(処置歯+未処置歯+むし歯が原因の喪失歯)は、1990年から2024年の4.30本から0.53本にまで減少しています。ただし、歯列・咬合の異常は、歯科医師の診断が必要な割合が増えています。

⑦歯肉の状態(%)

	1年男子	2年男子	3年男子	1年女子	2年女子	3年女子	男子計	女子計	男女合計
異常なし	92.59	84.62	50.00	91.67	86.36	75.86	79.71	84.00	81.94
歯周疾患要観察者GO	7.40	7.69	25.00	0.00	9.09	13.79	11.59	8.00	9.72
歯周疾患G	0.00	7.69	25.00	8.33	4.55	10.34	8.70	8.00	8.33
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

⑧歯周疾患G(比較)

	1年男子	2年男子	3年男子	1年女子	2年女子	3年女子	男子計	女子計	男女合計
横川中	0.00	7.69	25.00	8.33	4.55	10.34	8.70	8.00	8.33
全国	3.50	4.19	3.28	2.51	2.69	2.74	4.03	2.65	3.36

⑨歯肉の状態(%)

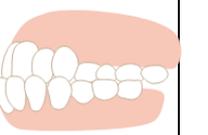
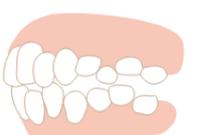
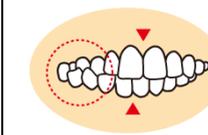
	1年男子	2年男子	3年男子	1年女子	2年女子	3年女子	男子計	女子計	男女合計
異常なし	55.56	73.08	93.75	58.33	72.73	55.17	71.01	61.33	57.02
異常あり1	11.11	7.69	0.00	16.67	9.09	6.90	7.25	10.67	11.40
異常あり2	33.33	19.23	6.25	25.00	18.18	37.93	21.74	28.00	31.58
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

⑨歯肉の状態(%) (比較)

	1年男子	2年男子	3年男子	1年女子	2年女子	3年女子	男子計	女子計	男女合計
横川中	33.33	19.23	6.25	25.00	18.18	37.93	21.74	28.00	31.58
全国	5.34	5.14	3.95	5.57	5.55	5.63	5.22	5.58	5.40

⑩歯列・咬合疾病(人)

	1年男子	2年男子	3年男子	1年女子	2年女子	3年女子	男子計	女子計	男女合計
上顎前突	2	2		1	1		4	2	6
下顎咬合					1		0	1	1
交叉咬合	3	2		3		1	5	4	9
反対咬合	2						2	0	2
叢生	1	3		3	2	7	4	12	16
過蓋咬合	2			1			2	1	3
過剰歯				1			0	1	1
開咬			1			3	1	3	4
矯正中	2	2		1		1	4	2	6
疾病計	12	9	1	10	4	12	22	26	48

開咬	上顎前突 (出っ歯)	下顎前突 (受け口)	叢生 (乱食い歯)	過蓋咬合	交叉咬合
奥歯で咬んでも 前歯が当たらない	出っ歯と称される	前歯が反対にか かっている	歯があごに入りきらないで ガチャガチャに生えている	前歯のかみ合わせ が深い	歯の前後的位置が1本 か2本、逆の状態
					

歯科検診では、歯肉炎を以下の記号で表します。

G : 歯肉炎などの歯周疾患罹患者

GO: 歯周疾患の要観察者

歯肉炎を認めるが、歯石の沈着がなく、  
食習慣の改善と歯磨きの仕方の工夫で  
改善が見込めます。

全校生徒の18%がG・GOでした。

Gは、全国平均より高いです。



歯列・咬合の異常には、様々なケースが見られ  
ますが、機能的な影響、治療の緊急度や治  
療法、期間も多岐にわたります。

歯科検診で経過観察とされた場合も、なるべく  
受診し、エックス線写真で歯や顎の状態を  
確認してもらいたいと思います。

横川中では、叢生が一番多く、次いで交叉咬  
合、上顎前突が多くみられました。